

六
朝鮮通信社
付
物
報

H-0858

0097

朝鮮文庫
圖書

物

朝鮮總督府博物館ニ關スル調査

朝鮮總督府博物館ニ關スル調査

(大正十三年三月
島田屬調査)

一 名稱及所在地

(一) 名稱 | 朝鮮總督府博物館

(二) 所在地 | 朝鮮京城光化門通

ニ 經營者

(一) 經營者ノ名稱及施設トノ法律關係

朝鮮總督府博物館ハ大正四年十一月十九日朝鮮總督府告示第二
百九十六號ニ依リ設立セララルコトトナリ朝鮮總督府總務課ニ

博物館係ヲ置キ經營セシメタルカ大正十年十月一日朝鮮總督府
訓令第五十三號ヲ以テ之ヲ變更シ朝鮮總督府學務局古蹟調査課
ノ所管トセリ但シ經營主体ハ朝鮮總督府トス

(二) 經營主体ト經營機關トノ關係

朝鮮總督府學務局古蹟調査課ニハ古蹟係、博物館係、技術係、
古社寺係、名勝天然紀念物係、庶務係ヲ置キ其博物館係ニ於テ
直接同博物館經營ノ任ニ當ル

然レトモ博物館係ハ博物館ニ關スル總テノ事務ヲ處理スルモノ
ニアラス左ノ三項ハ會計課ノ所管トス

- 一 博物館建造物ノ保存管理ニ關スル事項
- 一 博物館入場者ニ關スル事項

一 博物館備人ニ關スル事項

博物館ニハ館長ナルモノヲ置カス監査官（兼任七等）ヲ置ク
詳細ハ人的設備ノ項ニ於テ述フヘシ

二 設備

(一) 敷地坪數

約四萬二千坪

同博物館ノ敷地ハ舊宮城及福宮ノ敷地十萬八千坪ノ中ヨリ目下
建築中ノ朝鮮總督府新廳舎ノ敷地及後面ノ地域ヲ除キタル残り
四萬二千坪ニシテ此區域ヲ博物館觀覽區域トス

(二) 建築物

同博物館ノ觀覽區域ハ前記ノ如ク約四萬二千坪アリテ其中ニハ
博物館ノミナラス各種ノ殿堂樓閣多數アリテ或ハ事務所ニ或ハ

観覧所ニ充テツツアルカ博物館ニ屬スル建築物ハ陳列館七棟、
 倉庫九棟、事務所二棟ヲ主ナルモノトシ外ニ觀覽人ノ休憩所ニ
 テツツアル慶會樓一棟及便所三棟鳥舎二棟アリ
 (4) 建築物ノ種類

△陳列館

本館	人造石張煉瓦造二階建
勤政殿	朝鮮式木造平家建
同東廻廊	同上
同西廻廊	同上
思政殿	同上
修政殿	同上

△倉庫

新倉庫	人造石張煉瓦造二階建
萬春殿	朝鮮式木造平家建
千秋殿	同上
活字庫	同上
思政門西廻廊	同上
同東廻廊	同上
萬春殿左翼	同上
橋五門東廻廊	同上
同西廻廊	同上
△事務所	

慈慶殿
慈慶堂 一棟 朝鮮式木造平家建
清涼樓

附屬廻廊 同上

△其他ノモノ

休憩所（慶會樓）石造及木造朝鮮式樓閣二階建

鳥舎 鳥類飼養舎

便所 木造

以上ノ建築物中陳列館タル本館ハ大正四年朝鮮始政五年紀念物
産共進會ノ際美術館トシテ建造シタルモノニシテ同共進會ノ終
了後博物館陳列場トシテ利用シツツアリ從ツテ其外觀比較的壯
麗ナリト雖モ階上階下ヲ合シ坪數百二十九坪ノ小建物ニシテ基

礎工事ニ花崗岩ヲ使用シタル外、外部ノ大部分ハ煉瓦ノ表面ニ
人造石ヲ張りタル貧弱ナルモノナリ床ハ大部分「コンクリート
」トス

勤政殿ハ景福宮ノ正殿ニシテ一八六七年（我慶應三年）興宣大
院君カ建造シタル朝鮮半島ニ於ケル木造建築ノ最大ナルモノナ
リ（正殿廻廊ヲ合シ建坪一千三百六坪アリ）巨柱大ニ悉ク圓
縁ヲ彩リ其内庭、石階、石欄等ノ雄大ナル朝鮮建築上ノ軌範ヲ
示スニ足ルヘシ其他思政殿、修政殿、慶會樓等モ建物トシテハ
價値ナルモノナレトモ博物館用トシテハ特記スヘキモノナシ

△陳列館

(ロ) 建築物ノ棟數、階數及坪數

(建物名稱)	(階數)	(棟數)	(延坪數)
本館	二	一	一二九
勸政殿	一	一	一九五
同東廻廊	一	一	四八二
同西廻廊	一	一	四一二
同南廻廊	一	一	二一七
恩政殿	一	一	六三
修政殿	一	一	九五
計		七	一、五九三
△倉庫			
新倉庫	二	一	五四
萬春殿	一	一	三三
千秋殿	一	一	三二
活字庫	一	一	二〇
恩政門西廻廊	一	一	八六
同東廻廊	一	一	八六
萬春殿左翼	一	一	
櫛五門東廻廊	一	一	計 二五〇
同西廻廊	一	一	
計		九	五六一
△事務所			
慈慶殿	一	一	
協慶堂	一	一	
清涼樓	一	一	

H-0858

0102

庵ノ半肉彫石像ヲ模造セル石膏像アリ、廣間ヨリ右ニ折レテ入レハ第一室ニシテ樂浪帶方郡時代、三國時代、新羅統一時代等ノ古墳ヨリ發掘セル珍品ヲ陳列ス同博物館ノ最モ誇トスル精巧ナル漢鏡、穀粒壁、純金製帶金具、玉製九竅塞、金銅撥輪付漆器等支那本國ニ在リテモ殆ト發見セサル漢代ノ遺物ハ此ノ室ニ陳列ス中央廣間ヲ左ニ折レテ入レハ第二室ニシテ高麗及李朝時代ノ陶磁器家什食器裝飾品等ヲ陳列ス廣間ヨリ階段ヲ上レハ中央ノ室ニ廊下アリ三國時代以前ノ石劍、銅劍、銅鉞、銅器銅鏡、高麗時代ノ鏡盤、李朝時代ノ衛夫人活字、寶錄字、佛經字、整理字等ヲ陳列ス、廊下ヲ左ニ入レハ第三室ニシテ三國時代及高麗時代ノ佛像、佛具、寫經

附屬廻廊

計

合計

△其他ノモノ

休憩所(慶會樓) 三

鳥舍 一

便所 一

(ハ) 建築物内部ノ區劃及設備

△陳列館

本館一ハ階上階下ヲ各三室ニ區劃シ階下入口ハ中央廣間ニシテ

新羅統一時代ノ佛像ヲ陳列シ周圍ノ壁面ニハ慶州佛國寺石窟

一

二 一二九

一八 二、二八三

一

二

三

類ヲ陳列ス、廊下ヲ右ニ入レハ第四室ニシテ高句麗時代ノ壁
畫ノ模寫、李朝時代ノ繪畫等ヲ陳列ス

勤政殿―正殿ニハ現在ハ陳列ヲナシ居ラス室内ニ區劃ナク中央
正面ニ玉座アリ天井中央ニハ雙龍文ヲ吊ス、東西廻廊ニハ内
庭ニ面スル部分ニ何等戸障子ノ如キモノナク開放シアルヲ以
テ李朝時代ノ大砲高麗時代ノ石棺、碑碣石佛、鐵佛等ヲ陳列
ス

思政殿―室内ニ區劃ナク漢鏡、貨幣、武器、瓦埴等ヲ陳列ス
修政殿―室ノ入口一部ヲ仕切りテ壁畫ヲ陳列シ其奥ハ一室トシ
佛像、土偶、木伊乃、古碑、祭器等ヲ陳列ス總テ大谷光瑞卿
カ支那新疆甘肅地方ニ於テ蒐集シタルモノニシテ相當價値アリ

ルモノト云フ

△倉庫

新倉庫―階上階下共區劃セス、貴重ナル古墳發掘品ニシテ陳列
ノ場所ナキモノヲ多數所藏ス

活字庫―區劃ナク室ノ周圍ニ抽出附活字箱ヲ配列ス所藏朝鮮活
字約六十餘萬個ト稱ス

其他ノ倉庫ハ特記スヘキモノナシ

△事務所

慈慶殿、協慶堂、清涼樓ハ一棟ノ建物中ニアリ室内ヲ數個ニ區
劃シ博物館係ノ外古蹟係、技術係等ノ事務分室アリ附屬廳
ニハ傭人居住ス

△其他ノモノ

慶會樓一ハ修政殿後方ニ在ル二層ノ樓ニシテ巨大ナル石柱四十
八本（一本ノ高サ約二間、周圍十尺内外）ヲ以テ支ヘラレ四
面泉水ニ臨ミ北ニ白岳ヲ望ビ西ニ仁王山ヲ控ヘテ景勝最モ佳
シ階下ノ床ハ「コンシグート」ナリ

以上ノ建物中陳列館タル本館及新倉庫ノ二棟ハ階上階下共各窓
外ニ鐵欄アレトモ其他ノ建築物ハ朝鮮式殿堂ナルヲ以テ戸締甚
タ不完全ナリ又本館ノ陳列箱ハ元來美術館ノ陳列品用トシテ製
作シタルモノナルヲ以テ外觀ノ割合ニ戸締リ嚴重ナラス硝子戸
ヲ二重ニ錠テ下スノミ但シ各館ニハ監視アリテ監視ス

防火設備トシテハ消火器及「ポンプ」ヲ備フル外何等見ルヘキ

モノナシ又陳列館内ニテ守衛ノ爲冬季火鉢ヲ鑿用セシメツツア
ルモ電燈ノ裝置ナシ

（三）建築物以外ノ物的設備

（イ）列品ノ種類及數量

同博物館ノ陳列品ハ從來朝鮮總督府ニ於テ實施シ來レル古蹟
調査ニヨリ發掘又ハ蒐集シタル出所並ニ性質ノ最モ確實ナル
モノヲ主トシ之ニ總督府會計課ヨリノ引繼品（埋藏物國庫贈
贈品ヲモ含ム）山林課引繼品、一般寄贈品及個人ノ寄託ニ係
ルモノヲ加ヘ之ヲ補フニ購入品ヲ以テス其件數約九千六百件
ニ達スレトモ同博物館ハ創立後日尙ホ濼キノミナラス經營人
員ノ不足ニテ未タ整理シ居ラス只受入順ニヨリ物品畫帳ニ番

號ヲ附シ總數ヲ知レ共種類別ノ如キ判明セス其陳列館ニ陳列
 シアルモノハ極一部ハモノニシテ大部分ハ倉庫ニ保管ス
 右ノ外新羅、高麗、其他ノ石塔及塔碑類ヲ時代順ニヨリ庭内
 ニ陳列アルモノアリ
 (ロ) 其他ノ設備

同博物館ノ事務ハ古蹟調査事業ト不可分ノ關係ヲ有シ職員モ
 兩者ノ兼任多ク印刷物ノ類キ何レノ事業トモ區別シ難キモ兼
 ニ各博物館ノ施設トシテ關係アルモノナレハ左ニ列記ス

- 一 博物館案内 目下製作中
- 一 博物館陳列品目録 同
- 一 博物館圖鑑 三冊既刊

各時代ノ代表的物品ヲ順次寫眞版トシ和洋兩文ノ解説
 ヲ附シテ刊行シ一般ニ無代配布ス

- 一 博物館陳列品繪巻書 三冊既刊
- 一 代表的陳列品及博物館建築物ヲ六枚一組トシテ發行シ
 無代配布ス

- 一 博物館區域圖 一枚
- 一 博物館略案内 一枚
- 一 簡單ニ現在ノ陳列ノ狀況及陳列品ノ概要、時代ノ概念
 景福宮ノ沿革等ヲ記述ス
- 一 朝鮮古蹟圖譜 七冊既刊
- 一 第四倍版大ノ二百枚餘ノ「コロタイプ」版ニシテ布設

着色圖入ナリ

朝鮮ノ古代ヨリ各時代別ニ建築、古蹟、佛教遺跡、遺物等ニ分類シ各其變遷同化ノ迹ヲ攷究シテ編纂シタルモノナリ、無代配布スルトモ一部分ハ書店ニ携下ノ上一般ニ販賣セシム（一冊二十圓内外）十二冊ヲ以テ完結スル計畫ニテ目下第八冊編纂中ナリ

古蹟調査報告

八冊既刊

年々ノ古蹟調査ノ報告書ニシテ大正五年乃至九年間ニ毎年一冊宛、十一年ニ一冊、別ニ特別報トシテ二冊發行セリ此ノ外特別報告書二三種ハ目下印刷中ナリ

博物館叢書

印刷中

博物館ノ陳列品中貴重圖書ノ解説、寫眞版ヲ印刷シ紙代配布ス

右ノ外同博物館庭内ニハ鳥舎二棟ニ鳥類ヲ飼養シ又應會堂ニ面スル池水ニハ鳥魚ヲ放チ觀覽ニ供シ冬季ハ同池水氷結スルヲ以テ無料ニテ學生ノ「スケート」場タラシム

人的設備

同博物館ハ前述ノ如ク學務局古蹟調査課ノ博物館係ニ屬シ其事務モ同課ノ古蹟調査事業ト不可分ノ關係ニアリ從ツテ博物館ノ人的設備ヲ他ノモノヨリ判然區別シ難キモ大体左ノ如シ

(一) 職員ノ職名、種類及給與

調査官（奏任七等）年々六〇〇圓 一人

右ノ外同博物館ニハ博物館協議員ヲ置ク

- 協議員 内地大学教授 五人
- 總督府職員 二人
- 専門家 二人

右ノ中巡視及備人ハ會計課直屬トス
 別ニ慶尙北道慶州ニ朝鮮總督府博物館分館ヲ設立スル計畫アリ
 テ其人員ハ左ノ如ク決定セリ

- 囑託 二人
- 雇 一人

備人 三人
 合計 二十九人

技手 (判任四級)	兼任	一人
屬 (六級)	専任	一人
囑託	兼任	一人
		月八五圓
		六五圓
		四五圓
屬員		一人
		四〇圓
給仕		一人
		一八圓
巡視副長	内地人	一人
		六〇圓
巡視		一人
		一一圓
備人	鮮人	二人
	内地人	四人

計

九人

協議員ニ對スル給與ハ甚タ少額ニシテ總督府職員ニシテ協議員タルモノニハ一ケ年給三十四圓ノ特別手當ヲ給シ其他ノモノニハ一ケ年謝禮金百圓ヲ給スルノミ

(二)職員ノ事務分擔及執務ノ狀況

鑑査官一人ハ陳列品ノ鑑定、評價、陳列等ニ關スル事務ヲ掌ル

技手一人ハ陳列品ノ整理修繕等ヲ行フ

屬一人ハ陳列品臺帳及目錄ノ作成整理ニ任ス

囑託一人ハ陳列品ノ出納事務ニ從事ス

囑託一人ハ博物館ノ庶務ニ從事ス

巡視ハ館ノ内外ヲ巡視シ

傭人ハ雜役ニ從事ス

右ハ極メテ大体ノ表示ニ通キス博物館員ニ屬スルモノニシテ實際ハ他ノ係ノ事務ヲ行フモノアリテ此ノ關係不明瞭ナリ

協議員ハ陳列品ノ鑑定評價等ヲ行フ

尙参考トシテ博物館ノ屬スル調査課全体ノ各係及職員數ヲ示セハ左ノ如シ

- 一 古蹟係
- 二 博物館係
- 三 技術係
- 四 古社寺係
- 五 朝鮮總督府學務局古蹟調査課
- 六 名勝天然紀念物係
- 七 庶務係



課長 (奉任) 兼任 一人
 監査官 () 専任 一人
 屬 (判任) 編輯課勤務 一人
 技手 () 二人
 囑託 (判任待遇) 専任 九人
 () 兼任 三人
 (無給) 京都在住 一人
 () 慶州在住 一人
 博物館分館囑託 (無給) 慶州在住兼任 二人
 雇員 専任 二人
 編輯課兼任 一人

受益關係

(一) 受益者ノ種類及人數

大正十一年度ニ於ケルモノ左ノ如シ

普通觀覽者 内地人 一三、一二五人

鮮人 三八、四六六人

外國人 一、七九三人

外ニ古蹟調査委員アリテ古蹟調査及保存ニ關スル事項ヲ審議決定ス、左ノ如シ

委員長 (政務總監) 一人

委員 二六人

幹事 一人



特別観覧者	内地人	八、六五八人
	鮮人	二、三一三人
	外国人	六五人
合計		六四、四二〇人

(二) 受益状況

同博物館ハ毎年一月五日ヨリ十二月二十五日迄ヲ閉館期トシ毎日曜日及大祭日ノ翌日ハ休館ス即チ毎月曜日ハ休館日ナリ閉館時間左ノ如シ

- 自一月至二月 自前九時半至后四時
- 自三月至四月 自前九時至后四時
- 自五月至九月十日 自前八時至后四時

- 自九月十一日至十月 自前八時半至后四時
- 自十一月至十二月 自前九時半至后四時

観覧者毎月ノ数ハ四、五月及九、十月頃ノ季節ニ最モ多ク冬季ハ甚タ少シ

観覧料ハ普通観覧人ハ十歳以上一人五錢トシ十歳以下ハ徴收セズ、又特別観覧者タルモノハ軍隊、學生、其他特別ノ紹介又ハ關係アルモノニシテ観覧料ヲ徴收セス

大正十一年度中ノ入場料金二千五百七十八圓二十五錢ナリ

六 經理關係

(一) 經常費 (臨時費ナシ)

大正十一年度 三五、七八四圓

給與	九、三八四
雜費	三八四
陳列品費	一〇、〇〇〇
通信運搬費	三、五四〇
消耗品費	二、五五〇
筆墨文具費	一、〇五〇
圖書及印刷費	一、〇五〇
備品費	二、〇五〇
廳費	二〇、二四〇
大正十一年度豫算	三六、一五九
雜費	三七〇

廳費	二〇、〇〇〇圓
備品費	二、〇〇〇
圖書及印刷費	一、〇〇〇
筆墨文具費	一、〇〇〇
消耗品費	二、五〇〇
通信運搬費	三、五〇〇
陳列品費 (購入保管其 他ノ施設)	一〇、〇〇〇
給與	一五、七八四
族費	五、一三〇
給與 (兼任ヲ含ム)	九、三八四
雇員給	九〇〇



雇員給	一、八〇〇
旅費	四、三八七
大正十二年度豫算	三三、三〇〇
廳費	一九、一九九
備品費	一、九二〇
圖書及印刷費	九九七
筆紙墨文具費	九九七
消耗品費	二、四二二
通信運搬費	三、三六三
陳列品費	九、五〇〇
雜費	三六四

給與 八、四四五

雇員給 一、七一〇

旅費 四、一六七

同博物館ノ經費ハ大正十二年度ニ於テ五分乃至一割削減セラレタリ

陳列品ノ購入ハ陳列品費中ヨリ支出スレトモ同博物館ノ陳列品ハ物的設備ノ部ニ於テ遠ヘタル如ク大部分發掘品、引繼品、寄贈品等ニシテ購入スルモノハ甚タ少シ平均一ケ年五千圓位ナリ

其他ノ費目ハ彼此流用シ旅費ノ如キ事實上古蹟係ニ於テ古蹟發掘費等ノ爲使用シ居レリ

(二) 基金 ナシ



大監督

(一) 監督者

朝鮮總督

(二) 監督ノ程度及狀況

同博物館ノ直接ノ監督者ハ博物館係ノ屬スル古蹟調査課々長ニシテ陳列品ノ購入ノ如キ課長命令ヲ出シ又ハ決裁ス但シ陳列品ノ保管ニ關シテハ別ニ會計官更ヲ置キ監督ス

ハ事業ノ沿革

大正四年京城ニ開カレタル始致五年紀念物産共進會カ同年末終了スルヲ待チ同年十一月十九日朝鮮總督府告示第二百九十六號ニ依リ同年十二月一日ヨリ右共進會ニ使用シタル建物内ニ閉館シ一般ノ觀覽ヲ許セリ現在ノ本館タル陳列場ハ共進會ノ爲新築シタル美

32

術館ヲ其儘使用シツツアルモノナリ其他ノ陳列場及倉庫事務所等ハ殆ト舊景福宮官殿ヲ利用セリ

博物館ハ開設當時ハ前述ノ如ク總督府總務課博物館係ニ屬シタルカ後大正十年十月一日朝鮮總督府訓令第五十三號ヲ以テ之ヲ變更シ朝鮮總督府學務局古蹟調査課博物館係ニ屬スルコトナレリ
以上ハ博物館ノミニ關スル沿革ノ大要ナルカ現在同博物館カ使用シツツアル敷地及舊官殿ノ沿革ニ就キ左ニ略述シテ參考トス
博物館ハ景福宮ノ敷地十萬八千坪ノ中四萬二千坪ヲ觀覽區域トシテ使用シ居レルカ其景福宮ハ最初李朝太祖カ太祖三年十月開城ヨリ京城(當時漢陽ト稱ス)ニ遷都シ直ニ白岳ノ南麓ニ宮城ヲ造營シ同四年九月竣工シテ景福宮ト命名シタルモノナリ之レ我國ノ後

33

H-0858

0114

小松天皇應永二年ニシテ今チ距ル五百二十九年ノコトナリ、第二世定宗王ハ其元年一時閉城ニ歸リシモ、太宗五年再ヒ京城ニ來リ爾來二百餘年間ノ王居トナレリ然ルニ第十四世宣祖王二十五年（我朝ノ後醍醐天皇文祿元年）豐臣秀吉朝鮮ヲ征伐スルニ當リ王カ畿州ニ遷座スルニ及ヒ亂民慮ニ乘シテ火ヲ放チ宮殿ヲ灰燼ニ歸セシメタリ其後二百七十餘年間全ク荒廢ニ委シタルカ孝本王即位ノ始ノ興宣大院君之カ再建テ企テ二年工ヲ起シ四年（我カ慶應三年）一竣工シ翌年居チ昌德宮ヨリ遠ニ移セリ現存ノ勤政殿、惠政殿、修政殿、慶會禮及光化正門、建春東門、通津西門、神武北門等ハ悉ク此時ノ建物ナリ明治二十九年二月孝太王此宮ヲ去ツテ以來全ク廢宮トナリタルカ大正四年總督府カ始政五年紀念物産共進會ヲ

豊福宮内ニ開催シ閉會後博物館トナレリ

ニ將來ノ計畫及其他ノ豫想

最初ノ計畫ハ現在ノ本館ニ東西ノ兩翼ヲ増築シ之ニ接續シテ形ナル同様ノ建築ヲナシ中庭ヲ圍ム正方形ノ陳列館ヲ建築スルト共ニ現在ノ本館ノ東北部ニアル新倉庫ノ南北ニ各一棟ノ同様ナル倉庫ヲ建築シ各倉庫ヨリハ前記陳列館ニ通スル廊下ヲ架スル大規模ノモノナルカ此ノ計畫ノ未タ具体化セサルニ總督府ハ財政上ノ都合ニ依リ現在ノ博物館ノ經費年額約三萬五六千圓ノモノスラ兎角削減セントスル傾キアレハ右計畫ハ何レノ日ニ實行セララルヤ全然不明ナリ又人的設備ニ於テモ不足ヲ告ケ陳列品ノ整理容易ニ完成セサルカ同一理由ニヨリ當分増員ノ見込ナキ事ノ如シ

近キ將來ニ於テ慶尙北道慶州ニ博物館分館ヲ設置スル計畫アリ囑
託二人、雁一人ヲ置ク管

一 調査者ノ一般的及前各項ニ對スル意見

(一) 一般的意見

同博物館ハ舊宮殿タル景福宮内ニアリテ敷地廣ク眺望佳絶周圍
閑靜ニシテ交通亦至便ナリ唯李王家博物館ニ於ケルカ如ク附屬
ノ動物園又ハ植物園ノ如キ施設ナク從ツテ遊行ヲ主眼トスル一
般觀覽者ニトリテハ或ハ物足ラサル感アランモ博物館本來ノ目
的ヨリ見レハ固ヨリ言フニ足ラス若シ總督府博物館ノ外觀ヲ尙
フモノアリトセハ夫ハ彼ノ光化門ト勤政殿トノ中間ニ目下建築
中ノ總督府新廳舎ナルヘシ周圍ハ悉ク古色蒼然タル朝鮮式代表

的建築物ナルニ其中央ニ白色ノ石造廳舎ノ聳ユルハ如何ニ藝術
的ニ觀察スルモ到底調和シ難シ更ニ該新廳舎竣工ノ曉從來ノ舊
建築物ヲ取拂フカ如キコトアラハ之レ建設ニ非スシテ明ニ古文
明ノ被毀ナリ管テ光化門前面ニ存シタル沿道ノ石欄、階段等ハ
該新廳舎ヲ建築スル石材ヲ運搬スル爲電車線路ヲ引込ムニ當リ
取拂ヒタルモノナルカ總督府ニ於テハ之ニ對シ一般ノ反對アル
ヲ慮リ或夜十時頃ヨリ取毀ニ着手シ一夜ニシテ決行シタリトノ
コトナレハ該新廳舎ト調和シ難キ舊建築物ノ運命ヤ知ルヘキノ
同博物館ハ朝鮮ノ往古ヨリノ風俗習慣其他一切ノ沿革ヲ知ルヲ
目的トシ其美術的價值アルモノヲ特ニ保存紹介シツツアリ從ツ

テ陳列品ノ如キモ主トシテ朝鮮總督府ノ古蹟調査事業ニ依リ發掘シタル出所及性質、時代等ノ正確ナルモノヲ蒐集シ之ニ各方面ヨリノ寄贈品及一部ノ購入品ヲ加ヘテ最モ科學的ニ取扱フコトヲ理想トス此ノ理想ヲ實現スル爲書テハ博物館ヲ主トシ附帶事業ノ如キモノトシテ古蹟調査ヲ行ヒタルモ現在ニテハ古蹟調査ヲ主トシ博物館ノ經營ハ從タル觀アリ何レニシテモ兩者ヲ不可分ノモノトシ職員ノ如キモ殆ト兼任トシ古蹟調査ニヨリテ得タル確實ナル遺物史實ヲ直ニ陳列シツツアル方法ハ大ニ參考トスルニ足ル其規模ノ比較的小ナルニ而モ過去ニ於テ相當良好ナル成績ヲ擧ケタルハ蓋シ過然ニ非サルヘシ

(二) 建築物及設備上ノ缺點

同博物館ノ建築物ハ最初ヨリ博物館用トシテ建築シタルモノ一ツモナク大部分ハ舊式ノ木造家屋ニシテ西洋館タル本館及新倉庫ト雖モ共進會用トシテ建築シタル殆ト一時的建築物ナレハ戸締、防火設備ニ於テ採光法ニ於テ何等見ルヘキモノナク陳列箱ノ如キモ金箔等ヲ用ヒ徒ニ外觀ノ美ヲ競フノミニシテ其構造博物館陳列品ノ配列ニ適セス且ツ箱ノ外觀ノ華美ナル爲陳列品ノ品位ヲ墜ス虞レナシトセス陳列箱ハ竝ク迄戸締ヲ嚴重ニシ濕氣塵芥ノ侵入ヲ防止シ外觀ハ質素ニシテ高尚ナル色合ヲ可トス同博物館モ京城ノ如キ寒氣烈シキ場所タルニ拘ラス觀覽者ノ爲メノ防寒設備ハ何等ナシ獨リ守衛等ノ爲メニハ陳列館内ト雖モ冬季火鉢ヲ使用セシム博物館トシテハ寧ろ珍奇ト云フヘシ

下足置場モ亦何等ノ設備ナク只靴穿キノモノニハ「カヴァー」ヲ貸與スルノミ同博物館ニハ毎年陸海兵士ノ多數カ團體トシテ觀覽スルヲ常トス最近ニモ水兵一千餘名宛三日間觀覽スル筈ナルカ之ニ對シ博物館ハ其下足ノ處置ニ頭ヲ悩シ居レリ各陳列館ノ床ハ「コンクリート」又ハ松板張ナルカ如此多數ノモノカ一時ニ觀覽スルトキハ一同ニシテ床ノ「コンクリート」ハ殆ト破壊セラレ直ニ手入ヲ要スルコトトナルヲ以テ床ノ構造モ下足間題ト共ニ相當考究セラルヘキモノナリ

(三) 陳列品ノ整理及目錄ノ作成

同博物館ノ陳列品ハ大部分古墳ヨリ發掘シタルモノニシテ一部整理スミノ分ハ例ハ一個ノ墳墓ヨリ發掘シタルモノハ一括シテ

陳列シ又陳列場ナキ爲倉庫ニ保管スルモノモ紛失又ハ混亂ヲ避クル爲一々小形ノ箱ニ收メ之ニ番號ヲ付シ磁子紙ノ陳列箱ノ如キ構造ノ箱ニ配列シタリ此方法ハ手數及經費ノ點ニ於テ幾分不利ナルカ如シト雖モ之カ爲陳列品ノ檢査出納上甚大ノ效果アルヘシ

然ルニ一方ニ於テハ發掘品ニシテ未ダ整理付カサルモノモ少カラズ現ニ大正五年頃ノ發掘ニ係ルモノモ殆ト手ヲ付ケス倉庫ニ保管シ居ルモノアリ之カ理由ヲ以テクニ古墳發掘ニハ其都度内地ヨリ専門家渡鮮シ普通一ヶ月永キモ數ヶ月間發掘ニ從事シ發掘終了シタルトキハ發掘品ヲ博物館ニ引渡シタル上直ニ内地ニ歸ルヲ常トス然ルニ一方博物館ハ人員不足ニシテ到底手ノ付ケ様

ナク何日迄モ整理スルニ至ラサルナリト
 發掘品ノ大部分ハ既ニ腐蝕シ居ルモノナレハ之ヲ更ニ不完全ナ
 ル倉庫ニ數年間モ放置スルトキハ或ハ破損シ或ハ紛失スル虞少
 カラス遺憾ト云フヘシ
 又善修政殿ニハ大谷光瑞師カ新彙省甘肅省方面ヨリ持歸リ岡博
 物館ニ寄贈シタル藏書、^{佛像}土偶、木伊乃、祭器以下三百七十餘點
 雜然トシテ陳列シアレトモ其時代、出所、性質等ニ至リテハ未
 タ何等研究シ居ラサレハ見ルモノヲシテ尙ホ掘出シノ水蟲ヲ見
 ルカ如キ感ヲラシム
 岡博物館ハ創立後日尙ホ淺キト經費ノ都合上職員少キ爲メ未ダ物
 品原簿アルノメニシテ分類モ完成シ居ラサル處目下「カード」

式分類法ニ着手シ居レリ
 右「カード」ハ横二寸五分縦四寸位ノ厚紙ヲ用ヒ陳列品ハ悉ク
 向一品ヲ

一 受入番號順

二 出所順

三 配置順

四 時代順

ノ四種ニ分チテ名稱、時代、物質、受理次第、形狀ノ如何、構
 造ノ特徴、受入番號、寫眞番號、拓本番號、價格等ヲ記入シ各
 別ノ「カード」函ニ入レテ保管スルモノナレハ幾萬ノ陳列品モ
 出納自在ニシテ其内容ヲ知ルニ最モ輕便ナル方法ナリ此「カー

下「式」未タ完成シ居ラサルモ完成ノ上ハ其效果タルヤ蓋シ大ナルヘシ

朝鮮書府博物館ト李王家博物館トノ比較

總督府博物館ト李王家博物館トヲ比較スルニ兩者トモ京城ノ舊李朝宮殿ニ在リ其敷地、建築物、設備、經費、職員等ヲ見ルニ殊ト其授チーニス獨リ所藏陳列品ノ蒐集方法ニ於テ非常ナル相違アルヲ見ル

李王家博物館ノ陳列品ハ同博物館ニ關スル調査書ニ示ス通り殆ト大部分ハ創立以來毎年購入シタルモノナリ而シテ其誇トスル所ハ主トシテ高麗時代ノ陶磁器ニ在リ然ルニ總督府博物館ニ於テハ大部分ハ之ヲ博物館ト一體ヲ爲ス古蹟調査事業ニヨリ發掘

シタルモノニシテ其誇トスルモノハ漢時代ノ真正確實ナル證據ヲ藏スト云フ處ニ在リ、前者カ利益ヲ目的トスル骨董屋ヨリ出所時代ノ確證困難ナル物件ヲ單ニ鑑定評價ニ依リテ購入スルニ當シ後者カ専門家ヲシテ直接調査發掘セシメテ其價値スヘキ遺物ヲ蒐集スルハ朝鮮ニ於ケル考古學研究ノ立脚ヨリ見テ確ニ權威アルモノト云ハサルヘカラス然レトモ專ニ之レノミチ以テ朝鮮ニ於ケル博物館ノ辦事終レリト爲スヘカラス元來遺蹟遺物ナルモノハ或特定者ノ獨占シ得ルモノニアラス總體シ得サル場所ニ於テ且ツ偶然ニ發見セラルルモノ少カラス或ハ又利慾ニ夫ルノ徒ハ盜掘ツ氣ヲ爲スコトアルヘシ斯クシテ得タル遺物ハ密賣セラレ海外ニ輸出セラルルモノモ少カラサルヘシ(巴里、ボス

トシ博物館等ニハ東洋ノ代表的遺物少カラスト云フ如斯盛掘
 密賣、輸出等ヲ防止シ出來得ル限り朝鮮半島ノ古代ノ遺物ヲ保
 存スル目的ヲ以テ總督府ニ於テモ大正五年七月府令第五十二號
 ヲ以テ古蹟及遺物保存規則ヲ發布シ古蹟及遺物ハ登録ニ依ツテ
 永久的ニ保存シ又遺蹟及遺物ヲ發見シタルトキハ三日以内ニ届
 出サシメ之カ輸出ニハ調査課ノ輸出許可證ヲ要シ之レナキモノ
 ハ關稅ヲシテ通關セシメサル等細心ノ注意ヲ以テ保存ニ努メツ
 ツアレトモ利ニ走ルハ人情ノ常ニシテ高價ニテ買入ルルモノタ
 ニアラハ供給者ハ其相手ノ何人タルヤヲ撰ハサルヘシ其結果或
 ハ得難キ珍品ニシテ本國ヲ去リ却ツテ外國ニ逸失スルコト少カ
 ラサルヘシ

由之觀之博物館カ相當ノ陳列品購入費ヲ支出シテ總エス珍品ヲ
 購入ニヨリテ蒐集スルコトモ亦必要ナルコトナリ彼ノ李王家博
 物館カ十ヶ年ニ亘リ陳列品ヲ購入シタルモ此點ヨリ見レハ總ニ
 一筆タリシナリ但シ理想トシテハ博物館ヲ經營スル以上一方ニ
 於テハ附帶事業トシテ古蹟遺物ノ調査採掘ヲナシ他方相當額ノ
 購入費ヲ投シテ得レタル珍品モ皆ク精緻スルコトトセハ陳列品
 ノ蒐集ニ關スル限り或ハ遺憾ナカラン